

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員、非正規社員、パート社員、アルバイトの正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

正社員化と均等待遇の声を本社に訴え！

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3633
16年3月4日(金)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

郵政リストラを許さず労働運動の発展をめざす全国共同会議(事務局*郵政ユニオン、郵政倉敷労働組合)は、29日、16春闘勝利! 郵政非正規労働者の正社員化と均等待遇を求める本社前要請行動を行いました。

行動には全国から多くの非正規労働者の仲間が参加し、郵政ユニオンの組合員、支援の組合など合わせて、200名が日本郵政本社前を埋め尽くしました。

集会では日巻委員長のおいさつ、共闘を代表として小田川全労連議長、金澤全労協議長からあいさつがあり、会社との和解を勝ちとり1月18日に職場復帰した千葉中央局の吉村さん、1月19日に横浜地裁で解雇無効の完全勝利判決(22日、会社が控訴)を勝ちとった横浜青葉局の清水さんが、たたかいの報告を行いました。

海・鈴木さん、近畿・高橋さん、東京・浅川さん、中国・岡崎さんがそれぞれ自らの想いを語るとともに力強く本社への訴えを行いました。まともは郵政倉敷労働組合の川上委員長が行い、団結カンパローで終了しました。

非正規署名、過去最高の29,413筆

また集会に先立ち、全国でとりくまれてきた「正社員化と均等待遇を求める要請署名」を日巻委員長らとともに4名の期間雇用社員が、郵政本社に思いを伝えるながら提出しました。

非正規が中心となり院内集会開催

院内集会は100名が参加。司会を労働契約法20条裁判原告の東京の浅川さんが担当し、日巻委員長、川上委員長がそれぞれ主催者あいさつを行いました。非正規の声を聞くために日本共産党から梅村さえこ衆院議員と田村貴昭衆院議員(いずれも総務委員会所属)が出席、連帯と激励のあいさつを行いました。また、社民党の福島みずほ参院議員も参加、発言しました。(共産党・吉良よし子参院議員は秘書が代理出席)

現在、裁判闘争をたたかっている「郵政非正規65歳雇止め裁判」からは秋尾健太弁護士が、「労働契約法20条裁判」からは梅田和尊弁護士がそれぞれの裁判の現状とその意義について報告を行いました。

参加した非正規社員全員からの訴えには、議員のみならずも耳を傾け、しっかりとメモを取っていました。ぜひ、この訴えを国会の中でぶつけて欲しいと強く思いました。

労働契約法20条裁判原告の宇田川さんが、16春闘勝利に向けて力強い言葉でまとめました。最後に団結カンパローで集会を終りました。



明日は春闘団結ボーリング大会

ストライキ批准投票の結果と争議権の確立について

2月4日から2月24日まで実施された「ストライキ批准投票」は、全地本から2月25日までに中央選挙管理委員長あてに報告がありました。

第4回中央委員会以降、スト権一票投票成功に向けた地本・支部における奮闘に敬意を表します。開票の結果、16年春闘・ストライキ批准一票投票は75.36%の高批准により「ストライキ権」を確立しました。中央執行委員会は、2月27日に16春闘勝利に向けて中央闘争委員会を発足させ、4つの要求課題、賃金引き上げと各種手当の増額、年間一時金の引上げ、非正規労働者の正社員化と待遇改善、大幅増員の実現に向け全力を上げてたたかいぬくことを決定しました。

郵政ユニオン中央闘争委員会



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。